

## B. 屋内緑化コンクール 緑の取組み部門

### 屋内緑化推進協議会会長賞

#### タテニワ倶楽部神戸

(受付番号 B-1)

(フリガナ)	ニワノナイマンションデナカマトイッシュヨニエンゲイヲ!
取組名称	庭のないマンションで仲間と一緒に園芸を!
所在地	兵庫 都・道・府・県 神戸 市・区・町・村 垂水区
応募施設	1公共 2学校 3病院 4老健 5事務所 6商業 7集合住宅 8その他
取組期間	2022年 6月 9日 ~ (毎月1回活動中)

#### ○取組の概要 (必須)

同じマンションに住む有志9名で活動。メンバーそれぞれが自宅で育てている『タテニワ』を月に1度皆で持ち寄り、エントランスなどの共有部に飾っています。土の代わりに保水性の高い木質ファイバーを使用しているため、水遣りが月1回程度で済むのでこの活動が可能です。各タテニワは個人所有のため、共有部に飾っている間も各自が責任と愛情をもって管理しています。一般的な園芸グループ活動と異なり、水遣り当番がなく、皆で集まっての作業が月1回30~60分程度のため、メンバーは緩くつながって活動しています。『コミュニティは必要だけど、面倒なご近所付き合いは避けたい』と考えている住人が多い都会のマンションに最適なグループ活動だと実感しています。

〈エントランスホール・花台〉



〈エントランス〉



#### ○取組のシステム (必須) ・ 具体的活動内容

**タテニワとは**

約1000円+苗代/個

木質ファイバー (土の代わり)  
⇒水遣り1回/月 (観葉植物の場合)

プラスチック容器

不織布たわし (土留め)

積み重ねて飾ることが出来る

木質ファイバー

不織布たわし

市販の容器を加工

『タテニワ』というのは市販のプラスチック容器に数か所穴を開け、側面に植物(主に観葉植物)を植え込んだもの。並べて積み重ねて飾ることができるので、参加者の人数に関係なく、オシャレに飾ることができます。土の代わりに保水性の高い木質ファイバーを使っているため水遣りは月1回。コロナ禍中、他者と繋がる重要性をひしひしと感じているとき、タテニワに出会いました。タテニワなら他の住人とともにマンション共有部を飾るグループ活動ができると直感。デモンストレーション展示、タテニワ講習会を経て、2022年6月、有志とともにタテニワ倶楽部を発足しました。

メンバーはそれぞれの自宅でタテニワを5~10個育てています。月に1度皆で持ち寄り、共有部のタテニワと入れ替えます。葉の形や色のバランスを考え、相談しながらレイアウトを決めます。飾っている一カ月の間に水枯れや弱ったタテニワは、その所有者が自宅にある他のタテニワと交換します。タテニワは個人所有のため、共有部に飾っていない期間は自宅に飾って楽しむことができます。地域のガーデンショーに出展することで得た助成金やメンバーの不用品を集めてフリマに参加するなどして得た収入を備品や苗代などに充てています。



〈メンバーの自宅〉



〈ガーデンショー〉 →

#### ○取組の波及効果 (任意)

当初はエントランスホールにある花台にだけ飾っていましたが、現在はエントランス(市販の薄型本棚使用)や諸事情により水が止められた噴水跡地にもタテニワを飾っています。キッズルーム前のベランダにはキッズガーデンを設置(不要になったミルクボックスを使用)。ここは陽が当たるので花やイチゴ、レタスなどを育てています。子育て世代の応援になればと思って始めましたが、住人同士の交流も生まれているようです。タテニワがあることで共有部がおしゃれになったと住人にも好評のようですし、作業していると通りかかった住人の方に『いつもありがとう』とお声掛け頂くことも多く、コミュニティが醸成されているように感じます。このことが、防犯、災害時の共助、子供や高齢者の見守りに繋がり、それによりマンションの資産価値もアップするのではないかと期待しています。



水跡地



〈キッズガーデン〉



〈タテニワ WS〉

#### ○その他 (任意)

土の代わりに使用している木質ファイバーは保水性が高いが、いったん乾くと水を弾きます。このため、初めてファイバーを使う多くの方が水遣りに戸惑われます。タテニワは個人では長続きしないことが多いのも実情です。しかし、グループで活動することにより、情報共有ができ、少しばかりのライバル心も働くためか、皆、数カ月後には上手く育てられるようになります。なにより、共有部を飾るという使命感・やりがいでも継続できるようです。また、時々開催するタテニワ・ワークショップには外部からの希望者も多数参加されます(一戸建て居住者も多い)。この参加者にアンケートを実施したところ、6割の方が区役所や図書館などの地域の公共施設をタテニワで飾るグループ活動に参加したいと回答されました。タテニワは、マンションや会社、学校、都市部の地域などで、緩くつながるコミュニティを作るツールとして極めて有効だと考えています。